

会 議 録

会議の名称	令和4年度清須市健康づくり推進協議会
開催日時	令和4年11月16日(水) 午後2時～午後3時30分
開催場所	清須市役所南館3階 大会議室
議 題	1. あいさつ 2. 委員の紹介 3. 協議 (1) 健康日本21清須計画(第2次)・清須市自殺対策計画の推進 (2) 清須市保健事業 (3) 新型コロナウイルス感染症対策 (4) 今後の計画の見直し・評価について 4. その他
会議資料	会議次第 令和4年度清須市健康づくり推進協議会名簿 健康づくり推進協議会設置要綱 資料1 清須市の現状(健康日本21清須計画(第2次)・清須市自殺対策計画の推進) 資料2 令和4年度ひきこもり支援ネットワーク会議(報告) 資料3 清須市保健事業 資料4 新型コロナウイルス感染症対策 資料5 次期健康日本21清須計画策定等について
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
出席委員	加藤委員、近藤委員、宮田委員、時田委員、向山委員、片山委員、田中委員、佐橋委員、伊藤委員、入山委員、南委員、片山委員、小出委員、栗木委員
欠席委員	土屋委員
事務局	加藤健康福祉部長 〔健康推進課〕 寺社下課長、高木課長補佐兼成人保健係長、坂下課長補佐兼母子保健係長、三島健康増進係長、炭竈庶務係長、西村母子保健係主任主査 〔高齢福祉課〕 青山介護予防係長
会議の経過 1. あいさつ ●加藤福祉部長〈部長挨拶〉 2. 委員の紹介 ●事務局：お手元の清須市健康づくり推進協議会委員名簿をご覧ください。この委員会は、15名で構成されております。今年度からの新たな委員として2年の任期でお引きいただきました。どうぞよろしく願いいたします。会長・副会長の互選をお願いします。 ●栗木委員：会長に医師会代表の加藤委員、副会長に歯科医師会代表の近藤委員はいかがでしょうか。 ●加藤委員、近藤委員、承諾。他の委員も賛同。	

- 事務局：それでは3協議に入ります。議事進行につきましては、加藤会長、議事進行をお願いいたします。
- 加藤会長〈会長挨拶〉

3. 協議

〈資料に沿って説明〉

- (1) 健康日本21清須計画（第2次）・清須市自殺対策計画の推進（資料1・2）
- (2) 清須市保健事業（資料3）
- (3) 新型コロナウイルス感染症対策（資料4）
- (4) 次期健康日本21清須計画策定等について（資料5）

- 加藤会長：ただいま事務局から健康日本21清須計画（第2次）と清須市自殺対策計画の概要、保健事業等について説明がありました。計画について、1年期間を延長する話がありましたが、清須市においても、1年延長でよろしいでしょうか？賛成の方は挙手をお願いします。
- 委員：挙手多数。
- 加藤会長：ありがとうございます。それでは、1年延長しますので、よろしく申し上げます。他に、ご質問やご意見がありましたらお願いします。
- 入山委員：オーラルフレイルの関係で、8020の表彰の対象者はいますか。
- 近藤副会長：8020運動は80歳で20本あれば何でも噛めるということで、県歯科医師会が始めた表彰がありましたが、歯科医師会の歯科医院で80歳の検診を行い、歯が20本あると対象となります。北名古屋市は毎年11月23日に市民フェスティバルで表彰があったが、今はやっていないと聞いています。正確な人数は把握していませんが、清須市で30～40名はいると思います。オーラルフレイルは心の問題もあり、8020を超えた「ウェルネス8020」の概念があります。市の条例にも盛り込まれており、ありがたいと思っています。
- 加藤会長：本日の診療でも、検査した8割がコロナ陽性者でした。微熱、喉の痛みの症状で、検査して陽性が分かると「えっ、コロナ？」という反応です。この計画の冊子の9ページ「めざせ！こころもからだも元気なまち 清須」の重点ポイントにある「人とつながろう」や、冊子後ろの方にあります「清須市自殺対策計画」の12ページには「声を掛け合い、孤立させない地域のつながり」が基本理念としてあります。人とのつながりが難しいこのコロナ禍での皆様の活動について、お話を伺えればと考えております。
- 時田委員（社会福祉協議会代表）：社会福祉協議会では、コロナ禍で活動やそれぞれの地区で計画し推進しなければいけないことが中止せざるを得ない状況です。昨年から少しずつオンライン講座での開催、人数制限して少しずつやっており、今年度も何かできないかと思っていたら第8波が来て、これからどうなるのかな、というのが現状です。
- 宮田委員（薬剤師会代表）：ジェネリック薬品の不祥事で薬が入りにくいです。コロナで咳止めや去痰剤を確保するのが精一杯です。医師の処方のまま薬を出すのに苦労しています。毎年発言していますが、お薬手帳を慢性疾患の8割くらいの方が持ってみえます。飲み合わせの対策ができ、無駄な薬を省けます。非常に良く、推進したいと思います。普及したのは啓蒙活動してきたことと、お薬手帳があると10～40円安くなることもあることが良いと思われれます。薬剤師にとっても適切な処方だったか確認でき、医師にも進言できるメリットがあります。
- 向山委員（高齢者代表）：昨日シルバーの会合で出た意見は年寄りになるとコロナにな

ったことが言いづらいです。陽性者、濃厚接触者の基準、マスクを外して良いところ、だめなところをシルバー人材センターの広報に載せて欲しいとの意見がありました。

- 加藤会長：マスクは日本人が一番頑張っています。密のところでは予防し、1人でウォーキングしているときははずすなどが良いと思います。唾の飛沫感染なので、距離が離れていれらうつりません。1mでもマイクロ飛沫が起こることがあり、2m離れることを目安に、マスクでウォーキングの時は呼吸も苦しくなるので、はずしてもらっても良いのではと思います。一律マスクでいるのもどうかと思います。
- 加藤会長：片山委員は、地域の子どもの成長を見守って頂いておられますが、コロナ禍で子ども達も今までとは異なる生活を余技なくされています。子どもたちの生活、心の健康などお気づきになったことがありましたらご発言いただけませんか。
- 片山委員（中学校PTA代表）：子どもたち自体はコロナでどうということはない。学校側は行事を中止していますが、コロナについての影響は何もないです。一つだけ、医療費の無料は中学校までで高校生までというのは検討されていますか？名古屋市は無料ですが。
- 事務局：高校生の入院は無料となっています。ご意見として賜ります。
- 田中委員（女性の会代表）：女性の会ではひとりぼっちにさせないことを大事にしています。仲間にして地域の絆や、防災にもつながるといいなと思います。ただ、老人会のように参加者が高齢になっておりPTAとか若い人にも入って欲しいと思います。地域を活発にするためにも若い人が何を考えているか知りたいです。ペーパーを使って食事や体操、声を出す（誤嚥防止）として大切。懐かしい歌を印刷して、昔の子どもの童謡を頭の体操も取り入れながらやっています。人と人、顔を合わせることもペーパーであっても大切と思います。コロナで活動をやめてもウィズコロナ、コロナがいつなくなるか分からないのでフレイル予防、病院にかからなくても弱ってしまうと言うことが年配の方に起こりうると思います。認知、鬱の予防にも良いですし、優しい体操など、女性部やいろいろな団体で取り組んでいます。
- 加藤会長：昨年度、この会で、子ども達の様子で今一つ明るさがないように感じるとご意見をいただきましたが、最近の子ども達の様子はいかがでしょうか。
- 小出委員（住民代表）：市の子ども会常任顧問の小出です。令和2年度・3年度はコロナの感染者が清須市に多く、球技大会やドッジボール大会などは一切やらずに中止しました。令和4年度は子どもたちのためにやれることを考えないといけないということで、大縄跳びをやりました。すごく良かったです。体育祭もやりました。やれることをやっていきたい、と親たちは言っています。
- 片山委員（住民代表）：スポーツ推進員をやっています。小出委員がおっしゃっていたとおり、体育祭を令和2・3年度はやめていました。令和4年度は、工夫してやろうじゃないかということになり、各地区の推進員がそれぞれやり方を考えて、1日を半日でやるとか、通常の競技を短くするなど、今までと違った市民がやりたいことをやりました。ヨガとか、子どもが楽しむ会にしました。子どもが楽しめることを2年間、コロナで全然やってこなかったのが、今年は何とかやってみました。課題としては、各地区の推進員が順繰りにやるので、2年間何もないと引き継ぎできない状況です。いつもは前の推進員が分かるけど、それができなかったです。推進員も頑張りますので皆さん参加をお願いします。
- 南委員（母子保健推進員代表）：4地区の中から60名、母子保健推進員が活動しています。赤ちゃん訪問は、コロナ前は対面して部屋にも入ってお母さんの悩みはないですか？などのお話しができました。最近、ようやく訪問が始まりました。訪問する方もされる方も心配だと思いますが、ピンポン押すと中には出てきてくださる方もあります。お父さんが、オンラインのお仕事で在宅しておりお会

いできることもありました。赤ちゃん同士のふれあいがなく同じマンションに住んでいても、赤ちゃんが生まれたことが分からないでいます。お母さん同士の集まりがなく、お互い知らないでいて、連携ができない状況です。気になるおうちがあると保健師に伝えていきます。3世代でみえたり、いろいろな相談があります。携帯で調べたことを忠実に守ろうとするお母さんもいました。コロナ禍ですが見守っていきたいです。

- 加藤会長：コロナ禍でステイホームの方もいるのではと思いますが、どうでしょうか？
- 入山委員（健康づくりリーダー代表）：地域での教室にも高齢化で来られない人がいます。コロナ禍ですが、できるだけ声をかけて外へ出て、皆さんと会えると良いと思います。参加の人数はだんだん減っています。
- 加藤会長：会という感染のこともあって、難しい点もあると思います。工夫されていることはありますか？
- 伊藤委員（食生活改善推進員代表）：皆で作って食べるのが一番楽しいが、それができない状況です。今は作った物を持ち帰っています。出前講座や健康講座でちょっとしたおやつを提供していましたが、今後どうなるかと思っています。皆さんと一緒に食べているのは楽しそうでとても良いと思います。早くそうなるが良いと思っています。
- 佐橋委員（商工会代表）：コロナの話題が多いが違ったことを発言しても良いでしょうか？計画の重点目標に「たばこの害を理解しよう」というのがあります。成人年齢は18歳以上になりましたが、たばこは何歳から吸っても良いでしょうか？成人年齢は18歳ですが、たばこ酒は20歳からです。その認知度は68%と低く、7割の方は知っているが、3割の方は知らない状況です。選挙権は下がりましたが、低年齢から喫煙すると病気のリスクが高まります。たばこは20歳からという認知が必要で、もっと認知度を上げたいと思います。
- 加藤会長：呼吸器内科の医師の私としては心苦しいですが、たばこは20歳からです。
- 近藤委員（歯科医師会代表）：先ほど国民皆歯科検診の話があり、これは自民党から出されている意見ですが、まだ何も決まっていないです。健康日本21計画では、健康寿命の延伸というのがあります。人生100年、100歳まで生きる時代です。サザエさんの波平さんは54歳でして、当時は54歳でお年寄りでした。74歳くらいに見えるが、今は100歳の時代。歯科医師会の活動の主は「健康寿命の延伸」、これを掲げていることをお伝えしたいです。口は万病の元、先走ってそればかり言われています。生活習慣病、中でも糖尿病は腎臓障害を起こします。人工透析人口は8%以下が目標だが、実際は11.9%あります。それがクリアできない現状です。保健指導で増加を抑えられている側面もあると思われます。透析は一人当たり月40万円、年間480万円かかります。介護保険の要介護4、5の方も増え、財政的にも苦しい状況です。口の中から何かできないかと考えており、保健指導を頑張っています。気軽に話を聞いて欲しいと思っています。
- 加藤会長：それでは、最後のまとめを清須保健所の栗木委員にお願いします。
- 栗木委員（清須保健所）：本日、委員の皆様のお話を聞かせていただいて、計画は国も1年延長、次期計画のスタートもその後となります。健康の延伸、人とのつながりなどが、コロナで中断しています。コロナも最初は何が何だか分からないという状態でしたが、今は、分かってきて対策、を繰り返しています。良くないとは思いますが、法律があるのでそれを超えて何かというのは難しいと思っています。少し会っただけでも隔離とか、外出やマスクの話もあり、適切に自分で守ることが大切だと思います。自宅療養期間や届出の対象も見直され、限定されてきました。保健所の仕事は楽になってはいないが、情報を正しく伝えるのは職員だけではなかなか難しいと感じています。Withコロナとなり、むやみに怖がらなくてもいいと思います。広報するのは難しいですが、ワクチンを打ってもらって感染対策（密を避けるとか）により自分で守ってもらう、それし

かないと思います。コロナ前に戻るといって難しいです。やれることをやっていくことが大切です。市役所の仕事もやれることを皆でつながりを持ちながら、事業計画を進められると良いです。

- 加藤会長：今後もコロナはなくならないと思います。気をつけながら普通にすることです。罹ることもあるかもしれませんが、しっかり回復してきます。価値を見いだせば予防接種をしていただくこと、活動を止めない、つながりを保つことが大切だと思います。

それでは、このあたりで協議を打ち切らせていただきます。皆様方のご協力により、会議を円滑に進めることができました。ありがとうございました。マイクを事務局にお返しします。

- 事務局：加藤会長、近藤副会長ありがとうございました。大変貴重なご意見、ご要望ありがとうございました。なお、本日のご意見、ご要望等につきましては、次回の会議でご報告申し上げますのでよろしくお願ひします。次に、次第4その他につきまして、連絡させていただきます。

4. その他

- 事務局：委員の皆さんの任期が2年ということで、今年度は本日の会議で終了となりますが、引き続き来年度もご依頼させていただきますので、ご協力よろしくお願ひします。来年度の健康づくり推進協議会は、秋ごろの開催をと考えております。内容につきましては、健康日本21清須計画及び清須市自殺対策計画の推進状況についての報告などを予定しております。

- 事務局：それでは、本日の議事はすべて終了いたしました。これをもちまして、令和4年度清須市健康づくり推進協議会を閉会いたします。本日は、長時間にわたりご審議を賜りまして、ありがとうございました。以上で健康づくり推進協議会を閉会いたします。

閉会：午後3時30分

会議の結果	会議の経過に示したとおり
問い合わせ先	健康福祉部 健康推進課 電話 052-400-2911 内線2111

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和4年12月9日

署名委員 伊藤 千里

令和4年12月9日

署名委員 入山 八三郎